

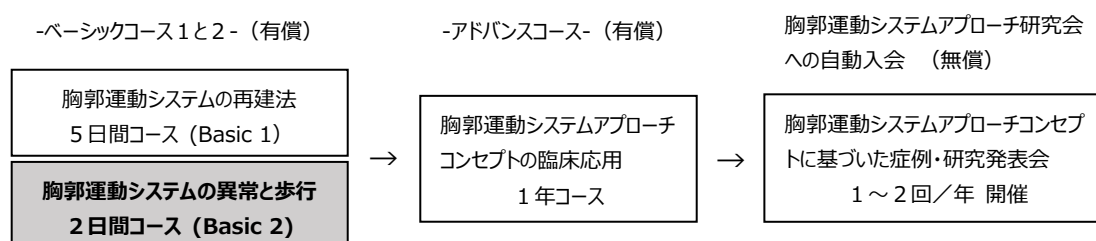
2025年5月吉日

関係者様各位

胸郭運動システムアプローチ講座 ベーシックコース2 開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度は、Breathing Care Tokyo 主催のベーシックコース2の開催のご案内をさせていただきます。ベーシックコースは、ベーシックコース1の「胸郭運動システムの再建法5日間コース」と今回ご案内するベーシックコース2の「胸郭運動システムの異常と歩行のセミナー2日間コース」から構成されております。これらベーシックコース1と2を修了されましたら、上位のアドバンスコースへとお進み頂けます。胸郭運動システムアプローチ講座の構成を以下にお示いたします。



胸郭運動システムアプローチ講座の構成

このベーシックコース2では、胸郭運動システムの異常で生じる歩行の特徴を観察し、足部に操作を加えて生じる胸郭の機能変化を捉え、足部と胸郭とのリンクを十分に理解できるよう、歩行分析に多くの時間を充てます。

ご興味をもっていただける方は是非ご参加ください。ご参加をいただける場合は、お手数ですが、下記のメールアドレスまでお知らせください。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

- 開催日：2025年12月13日(土)～12月14日(日)
- 講師：柿崎藤泰(文京学院大学)
- テーマ：胸郭運動システムの異常と歩行 -胸郭左側方偏位者の歩行を捉える-
- 時間：13日(土)→14:00～19:00(13:40開場受付開始)
14日(日)→10:00～17:00(9:40開場受付開始、昼休憩1時間)
- 受講費：¥30,000-(税込) (お申し込み後、お振込のご案内を致します)
- 定員：14名
- 場所：Breathing Care Tokyo (最寄駅：JR 秋葉原駅 徒歩11分)
〒110-0016 東京都台東区台東 1丁目 23-12 パールヨットビル 2F
- お申し込み先・お問い合わせ先：
e-mail：breathingcaretokyo@gmail.com (セミナー事業部迄)
お申し込みの際は、以下の項目をご記入ください。
 - ① 氏名(ふりがな)
 - ② 性別
 - ③ 所属施設名(都道府県名含む)
 - ④ 職種
 - ⑤ 経験年数
 - ⑥ メールアドレス(PCとスマートフォン)
 - ⑦ 当日連絡可能な電話番号尚、定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

以上

[講習の概要]

胸郭運動システムの異常は、胸郭の左側方偏位の定着により容易に生じる。胸郭左側方偏位は軸脚である左下肢上に僅かな重みの偏りをつくるのに有効であり、その効果は 左下肢の軸機構を強化できる。しかしその反面、胸郭形状や運動には可逆的な非対称性を惹起する。高い割合で生じる胸郭の左側方偏位者においては、その胸郭アライメントや運動からの感覚を介し、特徴的な足部での荷重パターンが現れる。その異常性に対しては、足部への介入で荷重感覚を変化させることで生じる身体反応は胸郭にも生じ、歩行を安定させることが可能である。歩行を介し上行性の反応を捉えることがこの講習の核となる。

[講習の目的]

足部に対しアプローチした際に生じる上行性の反応について理解する。

[講習の目標]

胸郭の運動機能と荷重関節の運動機能の相互関係について説明できる。

歩容変化を確実に捉えることができる。

[講習の内容]

◇ 1 日目

1. 胸郭運動システムの異常
2. 胸郭運動システムの異常と歩行との関係性
- 2.1 立脚期前半でみられる股関節内旋運動のタイミングに関わる事象 1
- 2.2 立脚期前半の骨盤側方移動に関わる事象 2
- 2.3 骨盤挙上に関わる事象 3

◇ 2 日目

- 2.4 骨盤回旋に関わる事象 4
- 2.5 脛骨側方傾斜に関わる事象 5
- 2.6 左側からの重心移動の転換に関わる事象 6
- 2.7 右側の中足部に関わる事象 7
- 2.8 脛骨の前後方向への傾斜に関わる事象 8

[プロフィール]

- | | | |
|-------|-----|--|
| 1991年 | 3月 | 社会医学技術学院理学療法学科卒業 理学療法士国家資格取得 |
| 同 年 | 4月 | 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション部勤務 |
| 1994年 | 4月 | 昭和大学医学部第二生理学教室特別研究生 |
| 1997年 | 4月 | 昭和大学附属豊洲病院リハビリテーション部主任として異動 |
| 1999年 | 12月 | アメリカ呼吸管理学会 (American Association for Respiratory Care)
「Respiratory Care」にて 1999 年 Best Original Paper Award 受賞 |
| 2002年 | 3月 | 昭和大学医学部第二生理学教室 博士課程修了 (医学博士) |
| 2006年 | 3月 | 昭和大学附属豊洲病院退職 |
| 同 年 | 4月 | 文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科准教授として勤務 |
| 2012年 | 4月 | 同大学 保健医療技術学部教授、保健医療科学研究科教授として勤務 |
| 2017年 | 12月 | Breathing Care Tokyo 株式会社 設立 |



現在に至る

[主な著書]

- | | | |
|-------|--|----------------|
| 2013年 | 新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイド | 一筋・骨格系理学療法 文光堂 |
| 2013年 | 呼吸リハビリテーションの理論と技術 改訂第 2 版 | MEDICAL VIEW |
| 2015年 | 理学療法技術の再検証 科学的技術の確立に向けて (理学療法 MOOK 17) | 三輪書店 |
| 2016年 | 胸郭運動システムの再建法 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 | 三輪書店 |
| 2017年 | 運動のつながりから導く肩の理学療法 | 文光堂 |
| 2017年 | 胸郭運動システムの再建法 第 2 版-呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 | ヒューマン・プレス社 |
| 2020年 | 運動のつながりから導く姿勢と歩行の理学療法 | 文光堂 |

[主なビデオ・CD]

- | | | |
|-------|--------------------------------------|----------|
| 2014年 | 胸郭運動システムの再建法 ～運動器として捉えた胸郭の機能評価と治療展開～ | ジャパンタイム社 |
| 2017年 | 胸郭運動システムの再建法セミナー ～レッドコードを利用した治療戦略～ | ジャパンタイム社 |